

一	落合	二、六〇九	一〇四	八九二	八四	四九三	四一四	三、九九五
二	丁號	二、〇三九	一一〇	八八二	八六	四九六	四六三	四、四一七
三	揚原	二、〇一七	六八	五一四	四三	二六九	二九六	二、七九六
四	聖護院	一、五八五	五	三〇三	四〇	二三三	二二八	二、二二一

右成績ニ依レバ第二區丁號ハ品質收量共ニ優良ニシテ第一區落合之レニ次グ。

三、メロン品種比較試験

一、試験ノ目的 本試験ハメロン各品種ニ付キ何レガ優良ナルヤヲ驗知セントス。
 栽培ノ梗概
 播種期 二月十七日
 假植回数 二回
 用土 田土九、腐熟堆肥二
 栽植株數一坪ニ付 九本
 一、試験別並ニ一坪ニ對スル成績左ノ如シ。

區名	試験別	上等品		下等品		總收量		採收始
		個數	重量	個數	重量	個數	重量	
一	エーワ	九	二、二九九	一	一	九	二、二九九	七月七日

二	スカイレット	九	二、六三三	一	一	九	二、六三三	七月十四日
三	トライアンプ	八	二、七九三	一	三〇	九	三、一三三	七月十八日
四	ロイヤルジュビリー	八	二、七九〇	一	二三三	九	三、〇三三	七月十四日
五	エメラルドゼム	六	二、四三九	三	七九五	九	三、二三四	七月廿四日
六	ヒーローブロッキング	八	一、六九八	一	一三五	九	一、八三三	七月十四日
七	ユニバース	六	二、四三三	三	八八七	九	三、三三〇	七月十六日

右成績ニ依レバ採收期早ク品質佳良ナルハ「エーワ」並ニ「スカイレット」ニシテ「ロイヤルジュビリー」之レニ次グ而シテ顆形大ナルハ「ユニバース」及ビ「エメラルドゼム」ニシテ「トライアンプ」並ニ「ロイヤルジュビリー」之レニ次グ。

第四委 托 試 験

各試験地位并試験種別並ニ擔當者氏名ヲ列記スレバ左ノ如シ。

郡名	町村名	試験種別	擔當者氏名
田方郡	錦田村笹原	胡蘿蔔肥料試験	本間金之亮
駿東郡	鷹根村西椎路	甘藷挿苗並ニ苗取置試験	伊藤嘉六

安倍郡	豐田村 小鹿	蘿蔔肥料試驗	青島 龜太郎
志太郡	六合村	葱頭肥料試驗	鈴木 鈴太郎
榛原郡	白羽村 白羽	甘藷插苗並ニ苗取置試驗	大石 友次郎
磐田郡	長野村 刑部島	里芋植方試驗	鈴木 兼吉
濱名郡	伊佐見村 古人見	蕃椒病害防除試驗	鈴木 愛三郎
同	新居町 內山	棗瓜瓜守防除試驗	杉本 次太郎

一、胡蘿蔔肥料試驗

相當人 本間金之亮

一、試驗ノ目的 本試驗ノ目的ハ胡蘿蔔栽培ニ當リ人糞尿並ニ種油粕ノ施用量ヲ異ニスル時ハ收量品質ニ如何ナル差異アリヤヲ驗知セントスルニアリ。

一、供試品種 地方在來種

一、反當三要素量 窒素四、〇〇〇 磷酸二、三〇〇 加里三、〇〇〇

一、試驗地面積 六十坪 一區面積十五坪

一、試驗成績ノ概要次ノ如シ。

區名	試驗區別	反當	收量	摘要
		上本數	下本數	
一	人糞尿 二〇〇× 種油粕 五〇〇×	二、三三〇	三、九〇〇	品質極上
		六、二五〇	二四一、八〇〇	
		三六、二〇〇	四六八、〇〇〇	

區名	試驗區別	反當	收量	摘要
		上本數	下本數	
二	人糞尿 三〇〇× 種油粕 二九〇×	一、五〇〇	三、五三〇	品質上本數少キハ腐敗ノ爲
三	人糞尿 五〇〇× 種油粕 七五〇×	一、五〇〇	四、六八〇	品質稍上
四	地方慣用肥料	一、五六〇	四、一六〇	品質下

備考 地方慣用肥料區ハ堆肥過磷酸石灰人糞尿ヲ施用シ三要素量窒素二、七二〇 磷酸四、三七〇 加里二、三〇〇ニシテ地方當業者ノ爲メ此ノ一區ヲ設ケ比較ス。

右ノ成績ニヨレバ第一區收量品質共ニ優良ニシテ第三區之レニ次グ、第二區ハ腐敗病ノ爲メ收量減シタルモ品質ニアリテハ第一區ニ次グ、第四區ハ收量品質共ニ劣ル。

二、甘藷苗取置試驗

擔當者 伊藤嘉六 大石友次郎

一、試驗ノ目的 本試驗ハ甘藷栽培ニ當リ苗ヲ取置ク時ハ其ノ收量品質ニ如何ナル影響アリヤヲ驗知セントス。

一、供試品種 相州白 伊藤嘉六 細蔓 大石友次郎

一、試驗地面積 一畝六坪 一區面積六坪

一、試驗成績ノ大概次ノ如シ。

區名	試驗區別	上落重量	下落重量	合計重量
伊藤嘉六擔當	一反步當收量			
大石友次郎擔當	一反步當收量			

一	直取苗	五〇,〇〇〇	一五,〇〇〇	五五,〇〇〇	一,〇七五,〇〇〇	六六,〇〇〇	一,一三一,〇〇〇
二	二日取置苗	五五〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	五七〇,〇〇〇	一,〇八〇,〇〇〇	一〇一,五〇〇	一,一八二,〇〇〇
三	三日取置苗	五六五,〇〇〇	二〇,〇〇〇	五八五,〇〇〇	一,〇九〇,〇〇〇	五四,〇〇〇	一,〇九四,〇〇〇
四	四日取置苗	五六五,〇〇〇	三二,五〇〇	五九七,五〇〇	一,一〇五,〇〇〇	四〇,〇〇〇	一,一四五,〇〇〇
五	五日取置苗	六〇〇,〇〇〇	一五,〇〇〇	六一五,〇〇〇	一,〇五五,〇〇〇	八五,〇〇〇	一,一四〇,〇〇〇
六	六日取置苗	六三〇,〇〇〇	二二,五〇〇	六五二,五〇〇	一,〇七二,五〇〇	七五,〇〇〇	一,一三七,五〇〇

備考 伊藤嘉六擔當畑地ハ五月二十三日挿苗十月十二日採收、大石友次郎擔當畑地ハ六月三日挿苗十一月十七日採收調査ヲナス。

右ノ成績ニヨレバ伊藤嘉六畑地ハ苗ノ取置日數永キ程成績優良ニシテ大石友次郎畑地ニアリテハ第六區ノ取置日數最モ永キモノ第一位ニシテ第四區、第一區之レニ次グ。

三、甘藷挿苗方法試驗 擔當者 伊藤嘉六 大石友次郎

一、試驗ノ目的 本試驗ハ甘藷挿苗ノ際其ノ方法ヲ異ニセル時ハ收量品質ニ如何ナル差異アリヤヲ驗知セントス。

一、供試品種 相州白 伊藤嘉六 細蔓 大石友次郎

一、試驗地面積 一畝六步 一區面積六坪

一、試驗成績ノ大要次ノ如シ。

區名 試驗區別

區名	試驗區別	伊藤嘉六擔當一反步當收量			大石友次郎擔當一反步當收量		
		上落重量	下落重量	合計重量	上落重量	下落重量	合計重量
一	地方在來挿	六三〇,〇〇〇	八,五〇〇	六三八,五〇〇	一,一七五,〇〇〇	七二,五〇〇	一,二四七,五〇〇
二	釣針挿	六三〇,〇〇〇	二五,〇〇〇	六六〇,〇〇〇	一,〇六五,〇〇〇	一〇五,五〇〇	一,一七〇,五〇〇
三	船底挿	六一〇,〇〇〇	一七,五〇〇	六二七,五〇〇	一,〇一五,〇〇〇	六五,〇〇〇	一,〇八〇,〇〇〇
四	直條挿	五七〇,〇〇〇	二二,五〇〇	五九二,五〇〇	一,〇〇〇,〇〇〇	七〇,〇〇〇	一,〇七〇,〇〇〇
五	横斜挿	五六〇,〇〇〇	一七,五〇〇	五七七,五〇〇	一,一四一,五〇〇	七二,〇〇〇	一,二一三,五〇〇
六	エヌ字挿	五三〇,〇〇〇	二〇,〇〇〇	五五〇,〇〇〇	九七五,〇〇〇	一〇一,〇〇〇	一,〇七六,〇〇〇

備考 伊藤嘉六擔當畑地ハ五月二十三日挿苗十月十二日採收、大石友次郎擔當畑地ハ六月三日挿苗十一月十七日採收調査ヲナス。

右成績ニヨレバ伊藤嘉六擔當畑地ニアリテハ釣針挿最モ優良ニシテ地方在來挿及ビ船底挿之レニ次グモ大石友次郎擔當畑地ハ横斜挿第一位ニアリ之レニ次グハ地方在來挿及釣針挿ナリトス。

四、蘿蔔肥料試驗 擔當人 青島龜太郎

一、試驗ノ目的 本試驗ハ蘿蔔栽培上三要素ノ適量ヲ査定セントスルニアリ。

一、供試品種 小鹿蘿蔔

- 一、試驗地面積 一畝二十四坪 一區面積六坪
- 二、反當標準三要素量 窒素四、〇〇〇 磷酸二、八〇〇 加里三、〇〇〇
- 三、試驗成績ノ概要次ノ如シ

區名	試驗區別	上本數	下本數	合計	上重量	下重量	合計	根部葉部割合	根重一葉重
一	窒素三貫匁區	五、一〇〇	七、五〇〇	五、八九〇	一、七四〇、〇〇〇	一、六五〇、〇〇〇	一、九〇五、〇〇〇	78%	22%
二	窒素四貫匁區	五、五五〇	六、〇〇〇	六、一五〇	一、八九〇、〇〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	二、〇〇四、〇〇〇	82%	18%
三	窒素五貫匁區	五、四〇〇	九、〇〇〇	六、三〇〇	一、七四〇、〇〇〇	一、三〇〇、〇〇〇	一、八六〇、〇〇〇	80%	20%
四	磷酸二貫匁區	五、一〇〇	一、〇五〇	六、一五〇	一、六六五、〇〇〇	二、一〇〇、〇〇〇	一、八七五、〇〇〇	82%	18%
五	磷酸二貫八百匁區	五、一〇〇	七、五〇〇	五、八五〇	一、五二五、〇〇〇	一、三三〇、〇〇〇	一、三三八、〇〇〇	84%	16%
六	磷酸三貫五百匁區	四、八〇〇	一、五〇〇	六、三〇〇	一、四一〇、〇〇〇	二、三二〇、〇〇〇	一、六六一、〇〇〇	85%	15%
七	加里二貫五百匁區	五、二五〇	七、五〇〇	六、〇〇〇	一、六五一、〇〇〇	一、三三〇、〇〇〇	一、七七二、〇〇〇	80%	20%
八	加里三貫匁區	五、四〇〇	七、五〇〇	六、一五〇	一、六六五、〇〇〇	一、四二〇、〇〇〇	一、八八七、五〇〇	80%	20%
九	加里三貫五百匁區	五、一〇〇	七、五〇〇	五、八五〇	一、四五五、〇〇〇	一、〇二〇、〇〇〇	一、五五七、〇〇〇	83%	17%

右成績ニヨレバ窒素施用區ニアリテハ第一區四貫匁區收量並ニ品質最モ可良ニシテ第一區之レニ次

グ、磷酸施用區ニアリテハ第四區二貫匁區全收量ハ多キモ根部重量ハ磷酸ヲ多用スルニ從テ多シ、加里施用區ニ於テハ第八區三貫匁區收量ハ多ク加里モ亦多用スルニ從テ根部ノ重量増加スルモ肉質不良トナルガ如シ。

五、葱頭肥料試驗 擔當人 鈴木鈴太郎

- 一、試驗ノ目的 本試驗ハ葱頭栽培上三要素ノ適量ヲ知ラントスルニアリ。
- 二、供試品種 エーロログロブダンパース
- 三、標準反當三要素量 窒素四、八三〇 磷酸三、五〇〇 加里四、四四〇
- 四、試驗地面積 二畝歩 一區面積十二坪
- 五、試驗成績ノ概要次ノ如シ。

區名	試驗區別	反當個數		反當重量		抽苔合計	球重	葉重
		上	下	上	下			
一	標準區	二、八八〇	二、八八〇	四九二、〇〇〇	三〇六、〇〇〇	八〇、四〇〇	〇、五八〇	〇、〇四八
二	窒素多量區	二、九四〇	二、九四〇	五一六、〇〇〇	二九七、〇〇〇	八七、六〇〇	〇、六〇〇	〇、〇六〇
三	磷酸多量區	三、五四〇	三、五四〇	五一六、〇〇〇	三六六、〇〇〇	一〇八、〇〇〇	〇、六二〇	〇、〇六〇
四	加里多量區	二、九四〇	二、九四〇	五一六、〇〇〇	三六六、〇〇〇	一〇八、〇〇〇	〇、六二〇	〇、〇六〇
五	三要素多量區	二、八二〇	二、八二〇	四九二、〇〇〇	三〇六、〇〇〇	八〇、四〇〇	〇、五八〇	〇、〇四八

右成績ニ依レバ收量最多キハ第三區ニシテ第五區及第四區之レニ次グ而シテ品質優良ナルハ第五區及ビ第三區トス。

六、里芋栽植方法試験 擔當人 鈴木兼吉

一、試験ノ目的 本試験ハ種子芋ヲ栽植スルニ當リ芽ノ方向ヲ異ニスル時ハ收量品質ニ如何ナル影響アリヤヲ驗知セントス。
 一、供試品種 早生芋
 一、試験地面積 一畝六歩 一區面積六坪
 一、試験成績ノ概要次ノ如シ。

區名	試驗區別	反當個數		反當重量	
		子芋	親芋	子芋	親芋
一 上向植		五〇、四〇〇	一、九四〇	五〇、三〇〇	一、五〇〇
二 稍下向植		五二、六〇〇	一、九三〇	五三、五三〇	一、三六、六〇〇
三 西斜上向植		五〇、九七〇	二、〇〇〇	五六、九七〇	一、三、九〇〇
四 北斜上向植		五二、〇〇〇	一、九七〇	五三、九五〇	一、三、六〇〇
五 東斜上向植		五二、五〇〇	一、九七〇	五四、四七〇	一、二八、〇〇〇
六 南斜上向植		四九、三〇〇	一、九三〇	五一、二三〇	二、二六、〇〇〇
					合計
					六二七、〇〇〇
					六六二、六〇〇
					八五、二〇〇
					六八〇、一〇〇
					六九二、五〇〇
					五九〇、一〇〇

右成績ニ據レバ子芋重量最多キハ第三區西斜上向植ニシテ第五區東斜上向植北斜上向植之レニ次ギ最モ少キハ南斜上向植ナリ。

七、蕃椒病害除防試験 擔當人 鈴木愛三郎

一、試験ノ目的 本試験ハ蕃椒病害豫除トシテ藥液撒布ノ効果ヲ驗知セントス。
 一、供試品種 八ツ房
 一、試験地面積 一畝十二坪 一區面積六坪
 一、試験成績ノ概要次ノ如シ。

區名	試驗區別	反當收量				
		生果重量	上等乾燥重量	中等乾燥重量	下等乾燥重量	合計重量
一 標區		三七九、〇〇〇	九三、〇〇〇	一二、四〇〇	七、五〇〇	一一、九〇〇
二 石灰ボルドー液定植後十日毎ニ四回撒布		四一四、〇〇〇	一一八、〇〇〇	八、五〇〇	一、八〇〇	一一、九〇〇
三 同液定植後十日毎ニ撒布		四三六、〇〇〇	一二、〇〇〇	八、〇〇〇	一、二〇〇	一一、九〇〇
四 同液定植後降雨後毎ニ撒布		三九三、五〇〇	一一五、〇〇〇	八、一〇〇	一、五〇〇	一一、九〇〇
五 銅石鹼液定植後十日毎ニ四回撒布		四四三、五〇〇	一二八、〇〇〇	九、三〇〇	一、七〇〇	一一、九〇〇
六 同液定植後十日毎ニ撒布		四三〇、〇〇〇	一二五、〇〇〇	八、六〇〇	一、一〇〇	一一、九〇〇
						合計重量
						三六、〇〇〇

七 同液定植後降雨後毎二撒布

四七五〇〇

二六、〇〇〇

六、三〇〇

三、六〇〇

一三七、九〇〇

右成績ニ依レバ第五區銅石鹼液定植後十日毎ニ四回撒布セルモノ病害少ク色澤良好ナル上等品ノ收穫最モ多ク第七區同液定植後降雨毎ニ撒布セルモノ之レニ次グ而シテ標準區即チ無豫防區ニアリテハ被害多ク收量少シ。

八、瓜守防除試験

擔當人 杉本次太郎

一、試験ノ目的

本試験ハ瓜類ノ瓜守被害ヲ防除スルニ適當ナル方法ヲ驗知セントス。

供試作物

瓜

試験地面積

一畝二十四歩

一區面積六坪

試験區別左ノ如シ。

區名	撒布及敷込期日並ニ一株ニ對スル分量	合計
一 無豫防	五月十九日 五月二十九日 六月九日 六月十九日	合計
二 田螺ヲ粉碎シテ一回敷ケルモノ	同上	一合
三 田螺ヲ粉碎シテ二回敷ケルモノ	同上	二合
四 五分網ヲ被フモノ	同上	同上

一、試験成績ノ概要次ノ如シ。

區名	撒布及敷込期日並ニ一株ニ對スル分量	合計
五 澁塗新聞紙ヲ敷ケルモノ	同上	同上
六 ナフタリン木灰二回撒布	同上	同上
七 ナフタリン木灰三回撒布	同上	同上
八 ナフタリン木灰四回撒布	同上	同上
九 頭髮ヲ敷込ミタルモノ	同上	同上

區名 試驗區別

一 反歩當收量
上等個數
蟲害個數

總重量

採收始

採收終

一 無豫防	五、一五〇	五〇〇	三六五、〇〇〇	七月一六日	八月三日
二 田螺ヲ粉碎シテ一回敷ケルモノ	六、八〇〇	三五〇	五八、〇〇〇	七月一六日	九月二日
三 同二回敷ケルモノ	七、七五〇	三〇〇	五九、五〇〇	七月一三日	九月二日
四 五分網ヲ被フモノ	五、五五〇	四〇〇	四七八、五〇〇	七月一三日	八月二〇日
五 澁塗新聞紙ヲ敷ケルモノ	五、二〇〇	三〇〇	三九七、〇〇〇	七月一六日	九月二日
六 ナフタリン木灰二回撒布	七、五〇〇	三五〇	五八、五〇〇	七月一六日	九月二日

七	同三回撒布	八、六五〇	三五〇	六萬、五〇〇	七月一三日	九月二日
八	同四回撒布	八、二五〇	三〇〇	六五、〇〇〇	七月一六日	九月二日
九	頭髮ヲ敷込タルモノ	五、〇〇〇	四、五〇〇	三七、〇〇〇	七月一八日	八月三〇日

右成績ニ依レバ虫害少ク上等個數ヲ最モ多ク收穫セルハ第七區及第八區ニシテ第三區之レニ次グ而シテ第一區無豫防區ニアリテハ虫害最モ少シ。

二、講習及練習生ノ養成

第一 農業講習生

一本場ノ部

第四回農事講習生ヲ置キ本年度ニ於テ一ケ年間ノ講習ヲ了ヘ修得證ヲ授與セルモノ左ノ如シ。

賀茂郡	高橋六郎	山田賢男	鈴木清吾
田方郡	溝田政平	杉山伊勢治	
駿東郡	渡邊武治	宇佐美幸吉	
庵原郡	宇佐美幸吉	大石賢二	山下美作
安倍郡	大石賢二	山下美作	
志太郡	大石賢二	山下美作	
榛原郡	原木守平	山崎實	松本令一
小笠郡	松浦鯉一郎	山崎實	松本令一

周智郡	一木喜徳
磐田郡	鈴木正武
引佐郡	佐藤敏再
二茶葉ノ部	鈴木清

第四回茶葉講習生ヲ置キ本年度ニ於テ一ケ年間ノ講習ヲ了ヘ修得證ヲ授與セルモノ左ノ如シ。

第二 委托練習生

一 農商務省指定茶葉練習生
 前年度ニ引續キ本省ヨリ委托セラレタル茶葉練習生中本年度修得證ヲ授與セルモノ左ノ如シ。
 宮崎縣 岩切 義秋
 二 茶業組合中央會議所茶葉練習生
 前年度ニ引續キ中央會議所ヨリ委托セラレタル茶葉練習生中本年度修得證ヲ授與セルモノ左ノ如シ。
 宮崎縣 柏木 登

三、雜ノ部

第一 職員出張回数

區別	本場	茶葉部	蔬菜部	合計
講習	一八	一六	一一	四五

14-2A
250

大正十四年三月廿五日印刷
大正十四年三月卅一日發行

静岡縣立農事試驗場

安倍郡豊田村曲金

印刷人 深尾新松

静岡市馬場町百二十八番地ノ二
電話一千七百九十五番

印刷所 深尾印刷所

静岡市馬場町百二十八番地ノ二

産業吏員	
主事	補員
久保田一郎	飯島録四郎
小澤猪太郎	足立奥美郎
奈倉顯太郎	飯島録四郎
...	...

終

